

ALT (外国語指導助手) コーナー

『私の夏休み』

岩城のALTのジャスティンです。今回、夏休みについてお話しします。

夏休みの8月の始めに、私は東京へ行きました。私の両親が日本に来るからです。両親は日本について何も知りませんので、日本食や文化などを紹介しようと思いました。

最初の日、私は成田空港まで両親を迎えに行きました。オーストラリアからの飛行機が8時間ぐらいかかりましたので、両親は疲れてホテルで休みました。次の日、私たちは横浜に行って、中華街のレストランで食事をしました。中華街にはお寺やお店が色々あって、たくさん写真を撮ったり、お土産も買いました。

1週間の間、東京の様々な場所に行きました。浅草で雷門の近くでお土産を買ってから、喫茶店で紅茶を飲みながら和菓子を食べました。新宿で色々なデパートに入って買い物をしました。その後、吉祥寺の井の頭公園でピクニックをしました。両親は全ての場所を楽しんで、写真をよく撮りました。

私は日本食が大好きなので、両親を連れてたくさんのレストランに行くつもりでした。お父さんは寿司やさしみが好きになったが、お母さんは「生魚は無理」と言いました。だから、私は「どこで食べようかな」と考えて、悩みました。結局、吉野家の牛丼店に行くと、お母さんは牛丼



を食べて、牛丼がすごく好きになりました。両親は二人ともお好み焼きとたこ焼きも美味しかった。だから、焼いた物がいいと思いました。

両親は日本にいた間、よく「びっくりした!」と「面白い!」と言いました。例えば、オーストラリア人は結構うるさいのですが、日本人はあまり大きい声で話しません。込んでいる電車の中でも、誰も話さなかったです。だから、日本は静かな国だと思いました。また、椅子とテーブルは全部低いし、食事のサイズは小さいと言いました。私も始めて日本に来た時、こういう事を気づいたので、両親の気持ちが理解できました。

両親は日本でもとても楽しい時間を過ごして、将来また日本で旅行したいと言いました。特に、上島町に来てみたいそうです。都会と比べて雰囲気全然違うので、このような生活を経験するのが面白いと思います。私が今の生活の話をした時、両親は「あまり想像できない」と言いました。例えば、ベッドじゃなくて、布団で寝ることがないので、「堅くない?」と言いました。後は、オーストラリア人は一ヶ月に米を一、二回しか食べません。だから両親は、「本当に毎日給食で白いご飯を食べるの?」と質問しました。実際に岩城に来ると、このような生活を理解できるようになると思います。もし来年岩城に来れば、両親を案内するのを楽しみにしています。

各地区の英会話教室

- 《弓削》 毎週水曜日 19:30 ~ 弓削中央公民館
- 《生名》 毎週火曜日 19:30 ~ 生名公民館
- 《岩城》 毎週水曜日 9:00 ~ 〃
- 《魚島》 毎週木曜日 20:00 ~ 岩城生活文化センター
- 《魚島》 毎週火・水曜日 19:30 ~ 魚島開発センター

こんにちは 町長です

noshima'x最高!

秋の文化祭において、各地域で芸能等の発表会が開催され、各地の特色と高いレベルの内容に改めて上島町の豊かさを実感しました。



その中でも魚島在住の行政職員や船員、ALTの先生や一般住民で編成されているバンドの演奏と歌は、私に勇気と元気と幸福感を与えてくれました。わずかに二百数十名の住民の地に、明るく若い音楽チームが存在すること自体、奇跡のようにも感じています。魚島住民にとっても、一筋の光で導いてくれる自慢の存在ではないでしょうか。

町民の皆様も、一度このバンドの生演奏を聴いてみて下さい。できたら魚島の現地で聴いていただければ、景観と共にその素晴らしさは倍増します。

上島町には仕事以外で様々な活動をされている住民が多く、ボランティアの参加率も愛媛県内で毎年一位になっています。不便な町ではあるけれど、ここにはどこも真似のできない、本当の豊かさがあります。「なにもない場所だけれど、ここにしか咲かない花がある」という歌のように、これから上島町にしかない花を、共に育てて行きましょう。

上島町長

上村俊之

青年海外協力隊 活動日誌

生まれ育った「上島」と第2の故郷「グアテマラ」

上島町のみなさん、お久しぶりです。グアテマラ共和国で青年海外協力隊として活動中の福田真之です。グアテマラは一年を通じて温暖な気候が続く、とても過ごしやすいです。国内には数々の観光名所があり、とても魅力的な国です。

私は現在グアテマラの首都、グアテマラ・シティーにおいて活動しています。職場は国内でも有数の総合スポーツ施設「デモクラシア公園」です。そこで午前は学校体育の一環として野球教室、午後は公園の野球アカデミーで指導をしています。学校体育でも野球アカデミーにおいても、様々な年齢の生徒たちがやってきます。もちろん男女の区別もありません。初めは野球の知識レベルや体力に差のある生徒を指導することや、そもそも「授業」や「練習」というものに対する認識の違いで、悩んだり葛藤したりの日でした。今でも試行錯誤の日ですが、生徒たちと楽しく野球ができるようになっていきます。これからは3人の同僚と共に、いかに効果的な野球教室ができるか、どうすれば野球を好きになってもらえるかを考えていきたいと思っています。



また、指導者としてだけではなく、選手としてもこの国の野球リーグに参加しています。



このリーグには近隣のキューバやドミニカ、ニカラグアやパナマといった国の選手も参加していて、様々な国の人達と交流ができます。野球という共通点で多くの人たちと知り合う事ができ、またスペイン語という共通言語で多くの人たちと話ができます。彼らと一緒に野球をすること、同じ時間を共有すること、すべてが私にとってかけがえのない財産になっています。指導者として、選手として、野球漬けの毎日です。

さて、2年の任期も残すところあと半年になりました。この国での生活にもすっかり慣れ、今住んでいるこの家が、このグアテマラ・シティーが、自分の家、自分の街だと感じられるようになってきました。また、グアテマラをどんどん好きになっていくのと同時に、改めて生まれ育った故郷「上島」の良さに気がつきました。海外で生活してみて、日本にいた時よりも、さらに上島が好きになった気がします。帰国した時、久しぶりに目にする上島がどのように映るのか楽しみです。残り半年も自分らしく頑張りたいと思います。

《福田真之 プロフィール》

佛教大学文学部英米学科卒業。同大学の硬式野球部を卒部。大好きな野球で国際貢献ができること知り協力隊に参加。好きな野球人は野村克也さん。同氏の著書「巨人軍論」「エースの品格」に感銘を受ける。

煙・悪臭・近所迷惑

ごみの野焼きはやめましょう！

廃棄物（ごみ）の野外焼却、いわゆる野焼きは、一部の例外（農作業に伴い刈り取った雑草等の焼却、とんど焼き、キャンプファイヤーなど）を除いて法律で禁止されています。廃棄物の野焼き禁止に違反した場合は、「5年以下の懲役、若しくは1千万円以下の罰金、又はその両方」に処されます。野焼き禁止の例外とされている行為でも、むやみに燃やしてよいというわけではありません。ご近所から苦情が寄せられたときは、すぐに野焼きはやめてください。苦情があつた場合は指導の対象となりますので、なるべく指定日に決められた方法で最寄りのごみステーションに出すか、クリーンセンター等へ搬入するようになしましょう。やむを得ず燃やさなければいけないときは、

- 周辺の住民に声をかけてから燃やす。
- 一度にたくさん燃やさない。
- よく乾燥させてから燃やす。
- 風向きや時間帯を考えてから燃やす。
- 燃やしたまま放置しない。

などに注意して、ご近所に迷惑がかからないようにしましょう。また、野焼きを行う際には、上島町火災予防条例により、「火災と紛らわしい煙又は火炎を発するおそれのある行為」はあらかじめ消防署に届け出るようになっていきます。これは問い合わせを受けた際に、火災ではないことを知らせるための届け出であり、この届け出によって消防署が野焼きを許可しているわけではありません。

空気の乾燥及び強風時など火災予防上特に危険である場合は、上島町火災予防条例によりたき火等の中止を命ずることができることになっていますので、町民の皆様のご理解・ご協力をお願いします。

■問い合わせ先

弓削総合支所住民課	TEL 771-2500
生名総合支所住民課	TEL 761-3000
岩城総合支所住民課	TEL 751-2500
魚島総合支所住民課	TEL 781-0011
上島町消防署	TEL 771-4118